

神奈川の研究者紹介

氏 名	荒木 淳子（あらき じゅんこ）	
現 職	産業能率大学情報マネジメント学部准教授（博士（学際情報学））	
主 な 経 歴	東京大学大学院学際情報学府修士課程修了。 シンクタンク研究員、東京大学大学院情報学環助教等を経て2010年より現職。	
専攻分野・研究テーマ	キャリア教育、学習環境デザイン論	
主 要 業 績 （これまで 発表した著 書、論文、 行政委員の 経験等）	【著書】『キャリア教育論』（共著、慶応義塾大学出版会、2015年） 『インフォーマル学習』（共著、ミネルヴァ書房、2015年） 【論文】『大学生と社会人によるキャリア意識向上を目的とする交流の実践と評価』，査読有， <u>荒木淳子</u> ・見館好隆・橋本諭，産業能率大学紀要第34巻第1号，pp.57-70,2013. 『ソーシャルメディアを活用したキャリア支援プロジェクトを通しての高校生のキャリア観の変容』，査読有，高橋薫・ <u>荒木淳子</u> ・藤本徹・大辻雄介・鈴木久・山内祐平，キャリアデザイン研究，Vol.9，pp.19-33,2013. 【委員・役員歴】 日本教育工学会編集委員	
神奈川県との関わり	神奈川在住。伊勢原市総合戦略会議委員、伊勢原市男女共同参画研修講師などを経験。	
メッセージ	【現在、関心をもっている領域】 人の生涯にわたるキャリアの支援とそのための学習環境のデザイン。「かかわりの中でキャリアを作る」をテーマに、高校生、大学生、ワーキングマザーなどさまざまな人のキャリア形成を支援する学習環境について研究・実践をおこなっている。 【神奈川県との連携に期待すること】 高校生や大学生と地域の様々な方とが連携し、より多様で豊かなキャリア教育を展開することができるよう期待しています。	
連 絡 先	〒259-1197 神奈川県伊勢原市上粕屋1573 産業能率大学 情報マネジメント学部 電話：080-4600-3038 E-mail：ARAKI_Junko@hj.sanno.ac.jp	

神奈川の研究者紹介

氏 名	小野田 哲弥（おのだ てつや）	
現 職	産業能率大学情報マネジメント学部現代マネジメント学科准教授 （博士（政策・メディア））	
主 な 経 歴	慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科後期博士課程修了。 産業能率大学情報マネジメント学部講師を経て、2010年より現職。	
専攻分野・ 研究テーマ	マーケティング、スポーツマネジメント、コンピュータ利用教育	
主 要 業 績 （これまで 発表した著 書、論文、 行政委員の 経験等）	【受賞】 SPSS Open House 研究奨励賞 INTAGE賞（2002） 日本マーケティング・サイエンス学会 審査員特別賞（2005） コンピュータ利用教育学会 PCカンファレンス 優秀論文賞（2011） 【論文】 社会的「期待-一致/不一致モデル」に基づく北京オリンピック日本代表選手の評価類型、 スポーツ産業学研究, 19(2), 185-196, 2009. ほか 【委員・役員歴】 コンピュータ利用教育学会理事 兼 広報・ウェブ委員	
神奈川県と の関わり	神奈川経済同友会主催「神奈川産学チャレンジプログラム」に2010年度より指導ゼミ生 チームが参加。2015年度までの実績として、最優秀賞3件、優秀賞8件。	
メッセージ	【現在、関心をもっている領域】 横浜DeNAベイスターズとのコラボレーション授業『スポーツ企画プロジェクト』の担 当教員であるため、その機会を利用したスポーツマーケティングの実践と検証。 オリンピック日本代表選手に対する国民の事前期待と事後満足の比較調査を、北京大会 （2008）から冬季を含めて継続実施しているため、その知見の東京大会（2020）への応用。 【神奈川県との連携に期待すること】 上記「神奈川産学チャレンジプログラム」とは、企業が抱える課題を大学生に提示し、 その解決策をチーム間で競うビジネスコンテストの名称である。近年の参加企業数は約30 社、参加大学数は約20校にのぼる。弊ゼミ（研究室）には、当該プログラムの学生指導を 通じた豊富なノウハウの蓄積があるため、同様の委託研究があれば受託したい。	
連 絡 先	〒259-1197 神奈川県伊勢原市上粕屋1573 産業能率大学情報マネジメント学部 電話：0463-92-2211（代表） E-mail：ONODA_Tetsuya@hj.sanno.ac.jp	